

令和3年度からの学習評価について

磐田市立向陽中学校

1 子供たちに育成したい資質や能力

中学校では、令和3年度から新学習指導要領が完全実施となります。新学習指導要領では、全ての教科等において、子供たちに育成したい資質や能力を、次の3つに整理しました。

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

- (1)「知識及び技能」
- (2)「思考力・判断力・表現力等」
- (3)「学びに向かう力・人間性等」

2 観点別学習状況の評価・評定

(1) 評価の観点

教育基本法や学校教育法、新学習指導要領の目標や内容の再整理を踏まえて、4観点から3観点到整理されました。

- ①「知識・技能」
- ②「思考・判断・表現」
- ③「主体的に学習に取り組む態度」

「主体的に学習に取り組む態度」の2側面

- 1 学習に粘り強く取り組む態度
- 2 自らの学習を調整しようとする態度

(2) 観点別学習状況の評価

学習指導要領に示されている各教科の目標に照らして、その実現の状況を、観点別学習状況の絶対評価として、A B Cの3段階で評価をします。

評価	実現の状況
A	十分満足できると判断されるもの
B	おおむね満足できると判断されるもの
C	努力を要すると判断されるもの

(3) 評定

各教科の学習の状況について、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を示す観点別評価を総括して、中学校では、「5段階」で評定します。

評定	実現の状況
5	十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
4	十分満足できると判断されるもの
3	おおむね満足できると判断されるもの
2	努力を要すると判断されるもの
1	一層の努力を要すると判断されるもの

(4) 評価と評定の関係

各観点の評価の組み合わせ	評 定
A A A	5
A A B	4
A B B ・ B B B ・ B B C	3
B C C	2
C C C	1

※AACやACC、ABCといった極端な評価は、原則として行いません。

※観点の評価の組み合わせ順序が変わっても、評定は変わりません。

(5) 主な評価方法例

① 日々の授業の取組

ワークシートやノートの記述、プレゼンテーションやスピーチの様子、実験や実技、創作や表現活動、グループ活動の様子等から、観点別に評価します。

② テスト

定期テストや単元テスト、パフォーマンステスト等から、観点別に評価します。

3 その他の評価

通知表では、この他に、行動面の評価、道徳科の評価、総合的な学習の時間の評価等について、記号や文章でお知らせします。

(1) 「行動の記録」評価項目と趣旨

項目の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合、○印を記入します。

項 目	趣 旨
基本的な生活習慣	自他の安全に努め、礼儀正しく節度を守り、節制に心掛け、調和のある生活をする。
健康・体力の向上	活力ある生活を送るため、心身の健康、保持増進と体力の向上に努めている。
自主・自律	自分で考え、的確に判断し、自制心をもって自律的に行動するとともに、より高い目標の実現に向けて計画を立て根気強く努力する。
責任感	自分の役割を自覚して誠実にやり抜き、その結果に責任を負う。
創意工夫	探究的な態度をもち、進んで新しい考えや方法を見付け、自らの個性を生かした生活を工夫する。
思いやり・協力	誰に対しても思いやりと感謝の心をもち、自他を尊重し広い心で共に協力し、よりよく生きていこうとする。
生命尊重・自然愛護	進んで自然を愛護し、自他の生命を尊重する。
勤労・奉仕	勤労の尊さや意義を理解して望ましい職業観をもち、進んで仕事や奉仕活動をする。
公正・公平	正と不正を見極め、誘惑に負けることなく公正な態度をとり、差別や偏見をもつことなく公平に行動する。
公共心・公德心	規則を尊重し、公德を大切にするとともに、わが国の文化や伝統を大切に、国際的な視野に立って公共のために役に立つことを進んで行う。

(2) 「特別の教科 道徳科の評価」

生徒が、道徳的な見方を広げたり、道徳的価値について自分自身とつなげて学びを深めたりしているかを個人内評価し、文章で記述します。

(3) 「総合的な学習の時間の評価」

1年：環境、2年：職業、3年：生き方を大きなテーマとして、探究的な学びの具体的な取組や、学習の深まりや成長を個人内評価し、文章で記述します。